

K F Cと尚絅学院大がつくる名取のメディア

ハナモモ通信

2017年 5月



ハナモモちゃん

【発行】
河北新報普及センター
【協力】
尚絅学院大 河北仙阪
【エリア】
名取市内
【部数】
11,600部
【電話】
022(266)2991



①エントランス (④は、リライフホームページから転載)

鶴(ひしろ ちづる)を始め、個人的なクラストと出会い、仲間に翻弄されながら高校生活を送るうちに、海崎の内面だけでなく周囲にも変化が起きていきます。実験期間は1年。物語は驚きと感動の結末が待っています。

皆さん知っていますか。4月15日に公開された劇場用長編映画「ReLIFE」の撮影ロケ地に、ハナモモ記者たちが通う尚絅学院大が使用されました。

主人公を含めた登場人物たちが通う高校という設定で、名取キャンパスおよび周辺で撮影が進められました。今回ハナモモ記者がロケ地を巡り写真と共に皆さんに紹介していきます！

原作をまだ読んだことがない方や知らない方に向けて、「ReLIFE」リライフのあらすじを簡単に紹介します。作者の夜宵草(やよいそう)さんによる学園漫画になっており、漫画アプリ「omico」で連載されています。物語は、企業を退職し就活に難航する主人公、海崎



ハナモモ記者が行く「ReLIFE」リライフ」ロケ地巡り

【写真】

①私立青葉高校・校門の後にある階段(学生エントランス前階段)
青葉高等学校の玄関や校門として主に登場し、海崎が編入した日の登校シーンや文化祭のシーン等々で使用されています。

尚絅学院大学の学生も日々の大学生活を送る上で学生エントランス前の階段を通り講義室や教室に向かいます。尚絅学院大学の学生が映画公開記念の企画の一部で撮影した写真ですが、ポスターと同じ6人でポーズなど再現して撮られています。

②私立青葉高校・図書館シン(図書館aimo)
主に夏休みに図書館で勉強する海崎達のシーンなどで使用されています。図書館aimo(アルモ)は、名取市・太白区在中の方で18歳以上の方ならどなたでも利用することができます。また、携帯電話(またはICカード)にて、利用登録を行うことで図書館所蔵資料の貸出利用を行うことも出来ます。通常開館日・時間(集中講義中を含む)月曜日～金曜日9時～19時、土曜日10時～14時※礼拝時間中は閉館となります(月、木曜日10時30分～11時10分)

③私立青葉大学・試験会場(5号館の講義室)
青葉大学の受験の試験会場のシーンとして使用されました。尚絅学院大学の講義室の広さは様々で授業によって使用する場所が変わります。学生が学びの場として使用している大切な空間になっています。



②図書館



③試験会場



④公園

④つばさの広場公園
日代が海崎に相談するシーンで使用されました。竹の子公園つばさの広場は住宅地にある公園なので地元の方に親しまれている公園になっています。

この春映画を見た方、DVD発売まで待つ方、漫画ファンの方など、ハナモモ通信を参考に写真で紹介した部分や台詞などに注目して、楽しんでみてはいかがでしょうか。(高橋諒子)



【ロゴマーク(おまけ)】

名取産食べ隊

ハナモモ記者が行く

焼き菓子とタルトの店

ナイツ・ブリッジ

味に深み 絶品のタルト

サクサクして香ばしい
タルト 記者もいただきました



名取市増田の住宅地にある焼き菓子とタルトの店「ナイツ・ブリッジ」は平成12年3月に開業しました。店主の三浦寿美さんは、笑顔が素敵な親しみやすい人で、取材に訪れた際にもたくさんのお客さんが来店していました。「自分で作り、自分で売り、お客さんと触れ合うことが楽しい」と三浦さんは笑顔で話してくれました。

ナイツ・ブリッジのおすすめタルトは全商品。お客さんの好みにより異なるとのこと。こだわりは、タルトの土台となる生地をしっかり火を通すこと。しっかり火を通すことで、味に深みが増し、食べた時のサクサク感が良いそうです。実際に食べてみると、生地はサクサクして、香ばしく、生地と中に入っているクリームや果物とのバランスが抜群。果物がたくさんついているタルトとは少し違い、手でつまんで食べられるようなフランス式のものベースにしています。

また、毎月10回程度、平日の火曜日と木曜日の午後1時から不定期にお菓子教室を開催しています。1回3,500円で参加可能。自分だけで楽しむのではなく家族と共に楽しめるように、作ったものは全てお持ち帰りしてもらおうなっています。

ナイツ・ブリッジは住宅地の中にあり、知る人ぞ知る名店です。雰囲気がとてもオシャレで惹き込まれます。是非、絶品のタルトをご賞味ください。

(澁谷胡桃)

焼き菓子とタルトの店 ナイツ・ブリッジ

宮城県名取市増田3-8-30-8 022-384-7104

なとり

歴史散策⑥

奥州三十三観音霊場

第一・第二・第三・第五番札所

平安時代初期に生きた円仁(慈覚大師)によって開基されたと言い、その後名取熊野三社を勧請したとされる名取老女が新たに設定したと伝わります。現在の札所は岩手、宮城、福島の3県にまたがり岩手12ヶ所、宮城18ヶ所、福島3ヶ所の奥州三十三観音霊場となっています。名取にある4つの札所を紹介します。

① 第一番札所 那智山紹樂寺(じょうらくじ)

観音堂は熊野那智神社の北方近くにあり、閑上浜から引き上げられたとされる十一面観世音菩薩像が本尊で別名「高館観音」と呼ばれています。



③ 第三番札所 金剛寺観音堂

慈覚大師作と伝わる金箔仕上げの木造・十一面観世音菩薩を祀り、「川上観音堂」とも言われています。



② 第二番札所 天苗山秀麓齋(しゅうろくさい)

運慶の作と言われる聖観世音菩薩が本尊です。

伊達家仙台藩祖 政宗公が慶長2年より翌春3月迄



④ 第五番札所 名取千手観音堂

以前は奥州街道と増田川が交わる北西にありましたが、現在は増田柳田に祀られています。



近年は神社やお寺を参拝し御朱印を集めることがブームになっているようですが皆さんも是非参拝してみてください。

プレゼント企画!

「ハナモモ記者が行く名取産食べ隊」にご協力頂いた、ナイツ・ブリッジさんからお菓子を抽選で3名へプレゼント!住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールがファクス、または郵送で先まで。5月5日締切。

(住所)

〒980-0022

仙台市青葉区五橋1の1の10

(FAX)

(227) 8333

「KFCハナモモ通信プレゼント」係まで。

メール: hanamomo-kfc@kahoku-fc.co.jp